

中央労福協「全国研究集会」岡山市で開催



全国研究集会風景 熊本労福協上田理事長へ義援金贈呈

6月4日～5日に2018年度全国研究集会が岡山において、全国各地から340名の参加のもと開催され、岐阜からは会長をはじめ5名が参加しました。

今年は、「貧困や社会的孤立に陥らない地域をつくらう!」をテーマに格差や貧困、社会的孤立の拡大と地域社会の役割について参加者が問題を共有しました。

1日目の講演は厚生労働省生活困窮者自立支援室長の本後氏が「生活困窮者自立支援制度の意義と制度見直し地域共生社会の実現」について、続いて、SSF代表の谷口仁史氏が、アウトリーチ（訪問支援）を行なうことによって明らかとなった社会的に孤立する子ども・若者の実態の紹介として、孤立する若者に寄り添い、引きこもりから就業するまでを熱く語られた。

2日目はパネルディスカッションが行なわれ、各方面での活動報告がされました。

また、中濃支部・中恵支部講演会および被災地県産品販売等の義援金10万円を研究集会に参加されていた、熊本労福協上田理事長へ贈呈しました。

事業団体の事業推進に向けた要請に、産別会員を訪問!



産別訪問

岐阜労福協では、中央労福協の「2018生活底上げ・福祉キャンペーン」の一環として、福祉事業団体の事業推進と利用拡大に向けて、6月28日から15の産別会員組織の事務局を中心に訪問し要請を行いました。

要請内容

1. 労働福祉団体の広報・宣伝等の取り組み

- ① 定期大会の運動方針に、福祉事業団体の事業推進や利用拡大に関する方針の記載。
- ② 定期大会の議案書や各種会議資料、機関紙誌等に、福祉事業団体の広告掲載。
- ③ 傘下労組の定期大会において、可能な限り労働金庫・全労済からの参加や事業団体担当職員への議案書の提供。
- ④ 労働金庫・全労済の事業説明および加入拡大等について各種会議や研修会等への参加要請。
- ⑤ 会員組織および傘下労組からの福祉事業団体ホームページへのアクセス回数増やお気に入り登録の要請。

「協同組合を考える集い」に参加

国際協同組合同盟が毎年7月の第一土曜日を国際協同組合デーと定め、全世界の協同組合員が心をつなげて協同組合運動の発展を祝い、平和とより良い生活を築くために、運動の前進を誓い合う日と位置付けられています。

岐阜県では、7月6日に岐阜市ホテルパークにおいて「協同組合を考える集い」が開催され、労福協・労金・全労済が参加しました。

集会は岐阜県協同組合間提携推進協議会座長の李命美氏より岐阜県の協同組合間提携活動の歩みについて報告があり、続いて広島大学大学院の小林助教授より「なぜ今、協同組合が大切なのか」と題しグローバル化の中での協同組合こそ、グローバルにお互い顔の見える関係が大切。組合員は「お客様」ではなく協同参画者である。と熱く講演されました。



..... 各種セミナーのお知らせ お問い合わせ、お申込は岐阜労福協まで

岐阜労福協「森の学校」



開校日/2018年9月2日(日)
場 所/美濃市ふれあいの森
参加費/無料 定員40名
内 容/流しソーメンと美味しいご飯・色鉛筆づくり

理念・歴史・政策セミナー



日 時 2018年9月18日(火) 18:30~20:00
会 場 ワークプラザ岐阜 5F大ホール
講 師 連合総研理事長 古賀伸明氏(元連合・労福協会長)
内 容 (仮) 労働運動・労働者福祉運動の理念と歴史

ぎふ労福協

岐阜県労働者福祉協議会 編集発行人/高田 勝之

vol.112

2018.8.1

岐阜市鶴舞町2-6-7
ワークプラザ岐阜内
TEL(058)248-6029
FAX(058)245-2410

【岐阜労福協機関紙】 連合岐阜・東海労働金庫・全労済・岐阜県労働福祉センター <http://www.gifu-rofuku.jp/>

第64回定期総会を開催!

連帯・協同でつくる安心・共生の福祉社会実現に向けて!

2018年5月25日(金) ワークプラザ岐阜5F大ホールにおいて第64回定期総会を開催しました。

総会に先立ち司会の内藤副会長の進行により自然災害被災者への追悼の意と復興を願い一同起立し黙祷を捧げました。

続いて、議長に山下常任幹事を選出し、議長より総会役員を提案、選出しました。冒頭、高田会長より、1.働く仲間の福祉向上を旗印に老後も含めた生涯に通じた福祉社会実現を目指す。2.岐阜労福協65周年記念事業について北海道視察研修および県内施設への寄付の実施。3.被災者に寄り添う支援活動の実施について挨拶された。

引き続き、来賓として、岐阜県の大城戸労働雇用課長、岐阜市の山口商工観光部長の祝辞を受け、事業団体から東海労働金庫舟口専務理事・全労済岐阜推進本部豊田本部長を紹介しました。

議案審議は井端事務局長から2017年度活動報告、2018年度活動方針および予算案が提案され全会一致で承認され、向こう1年間の活動方針を決定しました。



高田会長



議長 山下常任幹事



岐阜県 大城戸課長



岐阜市 山口部長



井端事務局長

岐阜県勤労福祉センター第49回定期総会を開催



5月25日に岐阜県勤労福祉センター第49回定期総会を開催しました。

総会は議長に栗田代議員(ドラッグユタカユニオン)を選出し、高田理事長より出席会員への感謝とワークプラザ岐阜及びライフサポートセンター岐阜の現状と今後の課題や更なる協力を求める挨拶を行い議事に入りました。

議事では井端専務理事より理事及び監事の報酬等、貸借対照表及び損益計算書、財産目録について提案し、全会一致で承認決定しました。

音楽療法士 堀越美和 氏の記念講演会開催

第64回定期総会終了後に恒例の記念講演会を開催し、定期総会参加者をはじめ、各組織および地域住民125名という多くの方に参加していただきました。

今回は、日本レクリエーション指導協会の音楽療法士、堀越美和氏による「音楽で楽しく脳を活性化」～認知症の基礎知識と予防のヒント～と題し、1時間30分の講演でした。

講演内容は、スライドやビデオにより、認知症予防について判りやすく、しかも楽しく講演を受けました。

堀越講師から「誰でも認知症になります、ただ、知らずにお亡くなりになるだけ」と講演され、音楽の力で脳トレを実践し誰でも出来る認知症予防について、実践を交えながら、参加者も笑いの中で楽しく予防方法を学びました。



中恵支部定期総会



労福協中恵支部の2018年度定期総会は、6月6日に東海労働金庫中津川支店に於いて開催しました。来賓として、岐阜県労福協井端事務局長、中津川市からは安江商工観光部長、全労済岐阜推進本部東濃支所から水口支所長および顧問議員団を招きご挨拶をいただきました。

総会では、2017年度の総括と2018年度の方針・活動計画、予算を審議し、満場一致で承認されました。また、労働組合や事業団体が労働者の暮らしを守る中心組織として「人と暮らし、環境にやさしい福祉社会の実現」に向けて活動することを確認しました。

中濃支部定期総会



労福協中濃支部は、平成30年6月18日見本市KYB労働組合研修センターにおいて、平成29年度定期総会を開催しました。

兼岩支部長あいさつで始まり、来賓祝辞では、県労福協高田会長のあいさつを受けました。

議事では、平成29年度総括、平成30年度活動方針等満場一致で承認されました。

活動方針では、連帯・協同でつくる安心・共生の福祉社会の実現に向けて、労働福祉事業団体の連携強化、文化・体育活動の充実、生涯福祉の充実に向け、会員間・事業団体との連携を深める活動を行なっていくことを確認しました。

西濃支部定期総会



労福協西濃支部の第57回総会は、6月22日にサンワーク大垣にて開催しました。冒頭、堀支部長からは、メーデーなど働く人のための活動の継続、東日本大震災や熊本地震等の災害復興支援への取り組み、そして子どもの貧困への取り組みなどについて触れ、挨拶しました。また、県労福協の高田会長より挨拶を頂きました。議事として、2017年度活動報告、決算報告を行い、満場一致で承認され、その後、第1号議案から第3号議案まで2018年度活動方針、予算、支部役員について、満場一致で承認されました。なお、会費の納入団体の状況について意見が出され、支部として各団体には公正に納入を促していくことを確認しました。

土岐支部定期総会



労福協土岐支部の第64回定期総会を、6月27日土岐市の「セラトピア土岐」にて開催致しました。冒頭、加藤寛二支部長が挨拶したのち、ご来賓の高田勝之会長様より岐阜労福協の勤労者福祉活動についてご挨拶を頂戴し、その後2017年度の支部活動の総括と2018年度の活動方針や役員変更等の諸議案を審議し、満場一致で承認されました。今後も労働福祉事業団体との連携を密に図り、連帯・協同でつくる安心・共生の福祉社会の実現に向けて、奨学金制度や生活困窮者対策などの社会運動や文化・体育行事にも精力的に取り組んでいくことを全員で確認しました。

飛騨支部定期総会



飛騨支部の定期総会は6月20日「ろうかん」において役員・会員代表者28名の参加で熊崎副支部長を議長に選任し開会しました。小井戸支部長から活動への御礼と取組みへの挨拶の後、県労福協の高田会長より激励の挨拶を頂戴しました。

議事として第1号議案から第6号議案まで満場一致で承認されました。活動方針では、これまで取り組みの「なんでも相談会」「飛騨勤労者サポートセンター事業」の相談業務の充実および文化体育活動を通じた労働者福祉活動の取組み強化を確認しました。

岐阜支部定期総会



岐阜支部は、第56回定期総会を6月21日(木)「ワークプラザ岐阜」において、県労福協の井端事務局長を招いて開催しました。2017年度の総括と2018年度の活動方針・予算について審議がされ、満場一致で承認されました。

活動の基本として①会員拡大と支部体制の充実②会員及びその家族の交流を深めるため、「文化・体育活動」の充実③勤労者福祉の向上④地域福祉の向上⑤働く人たちが豊かになる活動⑥社会貢献活動および教育活動の推進について確認がされました。

岐阜労済総代会・全労済岐阜推進本部代表者会議



7月31日にワークプラザ岐阜において、岐阜県労働者共済生活協同組合第60回通常総代会および全労済岐阜推進本部第1回組合員代表者会議が県下各地より多くの総代・組合員代表者が出席して開催されました。豊田理事長(本部長)の主催者挨拶および来賓挨拶につづき、鈴木事務局長より2017年度事業報告・決算報告と2018年度事業計画・予算案が提案され満場一致で承認されました。

また、任期途中の一部役員辞任に伴い役員補欠選挙により理事4名の選任も承認されました。

東海労働金庫通常総会



6月25日に名古屋市の「ウインクあいち」において東海労働金庫第18回通常総会が愛知・岐阜・三重地区の各県から多数の代議員が出席し盛大に開催されました。

度会理事長の挨拶に続き、来賓として各自治体・労働団体・福祉事業団体の各代表者が挨拶されました。議案審議は18期剰余金処分案と第8期中期経営計画及び平成30年度事業計画・財務収支計画が提案され全会一致で承認されました。

今回、度会理事長が退任され、土肥新理事長が就任されました。